

浦添市民憲章について

浦添小 五年 仲里 妃由

私が市民憲章を知ったきっかけは、四年生の総合学習で、市役所や自治会、ボランティアのガイドの方々がお世話をしてくれて、私達を案内してくれた時です。その方々は、私達に浦添城跡のことや、ようどれなど、浦添市についていねいに説明してくれました。その方々は、ほぼボランティアで私達に、浦添のことをもつと知ってほしいというお気持ちで活動をしているということです。それは、市民憲章にもある「文化の香り高いまちづくり」という、よい教育環境を育み、祖先から受け継がれた文化を大切にするという、お心で活動しているのだと思いました。

そして、歴史や文化を私達に伝えようとする「平和の心」のように感じました。また、浦添小学校の近隣では、毎朝たくさんの方々が、道路の清掃を行い、花木に水をやり、登校の時に事故がないように、道路規制をしてくれます。その方々も、浦添市民憲章にある「みどり豊かなまちづくり」や「きまりを守り、住みよいまちになるようにと、実行しているのだと思いました。

浦添市民憲章とは、市民一人ひとりが、よりよい「てだこの都市」にするための共通の目標だと思います。

私も、浦添市が住みよい、豊かな、明るい町になるように、地域の行事会に進んで参加したり、歴史や文化にふれる機会を積極的につくっていききたいと思います。そしてこれからもつと、市民憲章を理解し、心がけ、実践していけたらなと思います。そうしたら、もつともつと、浦添市は、浦添市民の“心”で、よりすばらしい、住みよい浦添市になっていくと思います。

浦添小学校は、毎年「てだこウォーク」に参加しています。市民憲章にある「明るく健康なまちづくり」を、これからずっと続けていきたいです。